

事業所名

めやすばこ・きっず

## 支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2024年

12月

1日

法人（事業所）理念	・利用者主体のニーズの追求 ・ナンバーワンの福祉サービスを目指す ・職員が働きやすい職場作り							
支援方針	・園など関係機関と密に連携を取りながらお子さまの支援を行います。 ・成功体験が積めるような課題設定の中で、お子さまの「できた！」「分かった！」を引き出していきます。 ・お子さまの様子や成長、発達段階などの評価に基づき、個々に合ったねらい、活動の進め方を検討していきます。							
営業時間	9時	00分	から	16時	00分	まで	送迎実施の有無	要相談 ※基本的にはご家族での送迎をお願いしています。
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・基本的な生活スキルの獲得を目指し、食事、排泄、着脱やそれに付随するスキルの獲得のための支援を行います。 ・専門的なアセスメントを行い、本人に合わせた視覚支援について検討を行います。 ・それに基づいたスケジュールや手順書を活用しながら、日々のルーティンなどやるべきことを自立的にできるようにサポートします。						
	運動・感覚	・体力、体幹の向上を目指して、運動遊びやサーキット活動、マット運動などを行います。 ・視覚的な指示や感覚刺激などを活用して、姿勢を保持するために必要な手立てを検討します。 ・様々な感覚に働きかける遊びを通して、視覚、聴覚、触覚といった感覚の活用を促します。						
	認知・行動	・太田Stage検査による評価に基づいた課題設定を行い、認知や身の回りのことに関する概念の理解を深め、それを行動の手掛かりとして活用できるよう支援します。 ・お子さんに合わせた視覚支援の方法について検討し、スケジュールや手順書を活用しながら見通しをもって活動に参加できるようにします。 ・余暇の充実を目的に、お子さんの興味関心を活かしながら、遊びの幅や興味の幅を広げる関わりを行っていきます。						
	言語 コミュニケーション	・活動の中でルールや手順を説明する際には、イラストや文字により視覚化して伝える、刺激の少ない環境を整える等、個々に合わせた配慮を行います。 ・事前の確認や要求カードの活用等を行い、ヘルプや要求などの自発的な発信を目指していきます。 ・大人が介入しながら子ども同士のやりとりを促すことで、人とのコミュニケーションの楽しさを引き出していきます。						
	人間関係 社会性	・SST（ソーシャルスキルトレーニング）を通して、場面に合わせた適切な行動や気持ちの調整の仕方について一緒に考えていきます。 ・必要に応じて自由遊びにも職員が介入することで、場所や物の共有それに伴うやりとりの練習を行います。 ・不安を感じやすいお子さんに対してもフォローをしながら成功体験へ導くことで、自信をもって集団に入れるように支援を行います。						
家族支援	・懇談や日々の情報共有、参観 ※一番身近な支援者であるご家族へのサポートを重視しています。			移行支援		・移行書、サポートブックの作成 等		
地域支援・地域連携	・園見学や保育士等による療育見学の実施 ・保育所等訪問支援による定期的な連携			職員の質の向上		・外部講師の方を招いた勉強会などを定期的実施 ・アセスメントツールに関する事業所内研修会の実施		
主な行事等	夏祭り、ハロウィンなど季節のイベントを定期的開催、合同運動会（法人内児童発達支援）、合同茶話会 等							